

福知山市外郭団体三次評価について

所管部署：文化・スポーツ推進課

所管団体：福知山市スポーツ協会

【講評】

- ・市がスポーツ協会に求める市の施策と目標値が示されておらず評価も出来ていないと考えた。
- ・市のスポーツ推進計画とスポーツ協会の役割分担を明確にした上で、どこまで出来たのかを評価すべき。生涯スポーツに貢献したかどうかの判断は、今できていないし難しいと思う。
- ・自主財源の確保は、主催事業の自主財源も指定管理の自主財源も制約が多く、その中で取組むことに難しさを感じる。どこまでやってもらうのか、それに対し必要なリソースを明確に把握した上で考えるべき。現時点では、あまり十分な評価ができないのではないかと考える。

1 市の二次評価の内容や外郭団体への関与のあり方について、改善策やお気づきの点など

- ・スポーツ協会に求める目標値と評価方法を再検討し明示する必要がある。
- ・市のスポーツ推進計画とスポーツ協会の役割分担を明確にした上で、どこまでやれたかを評価すべき
- ・生涯スポーツに貢献したかの判断は？対象者や分野の分析をし、スポーツの裾野が広がったかを判断評価すべきではないか。
- ・自主財源の確保が困難になっていないか。施設予約は市が担い、あまった日程で自主事業を実施するのは厳しいので、それも踏まえた自主財源確保の議論になるのだと思う。

2 団体が作成する中期経営計画について、市及び外郭団体で確認すべき点や現在の計画の改善点についてお気づきの点など

- ・合目的性について、再度見直す必要があるのではないか
- ・将来にわたる経営計画、財源、業務範囲、人員などのシミュレーションを求めるべきではないか（業務範囲は「指定管理あり」「指定管理なし」の場合）

3 上記1、2に対する所管部署の対応方針

令和6年度中の取組み

- 1
 - ・現在の指標「宿泊者数」を再検討する。
 - ・福知山市スポーツ推進計画を推進するうえでスポーツ協会の役割を整理する。
 - ・生涯スポーツに関連する参加者の属性を分析する。
 - ・自主財源確保策を再検討する。
- 2
 - ・合目的性については、市民スポーツの振興、日本スポーツ協会の下部組織、指定管理者という3つの役割を連動させることによってスポーツ振興を図っていくことに変更する。
 - ・市が求めるスポーツ協会の役割を整理する。